

日付	令和6年4月10日
担当所属	山梨県立図書館 副館長 小林久美

「やまなし子どもの読書情報 第26号」発行について

山梨県立図書館では、子どもの本や、子どもの読書活動に関する県内外の情報を発信する「やまなし子どもの読書情報 第26号」を発行しました。

今回は以下の特集記事を掲載しています。

- ・甲府市立図書館 小中学生の1人1台端末と連携した電子書籍サービス開始
- ・富士川町立図書館オープン

山梨県立図書館内で無料配布しているほか、ホームページにて PDF データを公開しています。

※PDFデータ掲載ページ（トップページ>山梨県子ども読書支援センター>発行物）

https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_hakkou.html

問い合わせ先

山梨県立図書館 サービス課 子ども読書推進担当 佐久間

TEL 055-255-1040 FAX 055-255-1042

子どもの本や、子どもの読書活動に関する県内外の情報をお届けします！

山梨県子ども読書支援センター（県立図書館内） TEL 055-255-1040 <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>



○県内図書館活動紹介○ 甲府市立図書館 小中学生の1人1台端末と連携した電子書籍サービス開始

甲府市立図書館が、市内の小中学校と連携し、2023年12月1日から開始した児童・生徒向けの電子書籍サービスについてご紹介します。

〈どのようなサービスですか？〉

甲府市立の小中学校（計36校）の児童・生徒全員と教職員に利用者IDを配り、甲府市立図書館の電子書籍サービスを利用できるようにしました。学校の1人1台端末でも読むことができます。1人1台端末と公共図書館の電子書籍サービスとの連携は、県内公共図書館では初めてのことです。市内の私立の学校にも、連携を呼びかけているところです。サービス開始にあたり、同時アクセス数に制限のない読み放題のサービス（右図）を契約しました。

「児童書読み放題」です！同時アクセス数に制限ありません！



〈「児童書読み放題」〉

甲府市立図書館電子書籍サービスサイトより

〈学校連携を開始したきっかけは？〉

甲府市立図書館では、2022年11月1日から電子書籍サービスを開始しました。学校連携を開始したのは、「GIGAスクール構想」における1人1台端末等のICT利用促進の流れの中で、学校への電子書籍導入の機運が高まったことがきっかけです。“子どもの読書活動の推進”と“電子書籍サービスの利用促進”を目的としています。事前に、市内の学校司書の方々に実際に使用していただいてアンケートで感想や要望等を把握したほか、行政のICT担当（教育部教育総室学事課ICT整備係、教育部教育総室学校教育課ICT推進係）と協力しながら進めていきました。学校連携を開始してから、電子書籍サービスサイトへのログイン回数や、電子書籍の閲覧数、貸出数は大きく増加しています。貸出ランキングを見ると、学習まんがが人気があることがわかります。

キーワードは「1分・3分・5分・10分」！



〈特集「キーワードは『1分・3分・5分・10分』!〉
甲府市立図書館電子書籍サービスサイトより

〈工夫していることは？〉

電子書籍サービスサイトのトップページに、定期的特集を組んでいます。例えば、『3分後にゾットする話』のシリーズが人気なので、時間に着目した特集を組みました（左図）。サムネイル（本の表紙画像）表示の5件は、児童・生徒が興味をひきそうなものを選び、反応を見ながら試行錯誤を繰り返し、取り組んでいます。電子書籍のコンテンツ総数は現時点で836点になりますが、計画的にコンテンツ数を増やしていきたいと思っています。

◆◆アクセス◆◆

甲府市立図書館 <https://libnet.city.kofu.yamanashi.jp/lib/>
〒400-0861 甲府市城東1-12-33 TEL:055-235-1427
開館時間 平日（月曜日を除く）：午前10時～午後7時 土・日・祝日：午前10時～午後5時

甲府市立図書館
電子書籍サービスサイトの
QRコードはこちら→



富士川町立図書館が、2023年7月15日、富士川地方合同庁舎の1階にオープンしました。基本コンセプトの一つに「子育て支援図書館」を掲げている富士川町立図書館の特徴や取組について、ご紹介します。



図1〈おはなしコーナー〉

〈おはなしコーナーについて教えてください〉

どんな本がありますか？

赤ちゃん絵本だけでなく、一緒に来た保護者も参考になるような育児書や育児雑誌、わらべうた・手遊びの本なども置いています(図1)。

おはなし会は？

毎月第2木曜日に0～2歳向けの「かるがもおはなし会」を実施しています。2024年5月からは、奇数月第4日曜日に3～5歳向けの「ぺんぎんおはなし会」も開始します。おはなし会の案内と当日の様子の紹介は、ホームページのほか、Instagramでも行っています。



図2〈おはなしコーナー入口〉

こだわりポイントは？

おはなしコーナーは靴を脱いで利用するコーナーですので、入口に、いろいろな動物の足跡をデザインしました(図2)。足跡に合わせるようにして靴を脱いでくれるお子さんもいます。また、子どもトイレ、調乳専用給湯器付きの授乳室をすぐ隣に設置しました。

〈ブックスタート事業について教えてください〉

乳幼児健診時、7～8か月児を対象に、赤ちゃん絵本を1冊贈呈しています。図書館職員が出向いて4冊の絵本を読み聞かせ、その中から1冊選んでもらっています。絵本を仲立ちとして、家族と赤ちゃんに楽しい時間を過ごしてほしいという思いで取り組んでいます。なお、4冊の組み合わせは毎年変えています。

〈児童書コーナーの特徴は？〉

書架のサインには特産のゆずのアイコンを施し、文字はUDフォントを使用しています。物語の絵本は、日本の作家と外国の作家で分け、知識の絵本は十進分類法をベースに、ジャンルごとに分けています。SDGsの本を展示しているほか(図3)、季節の本も展示しています。

りんごの棚も設置しており(図4)、点訳絵本、さわる絵本、障がい理解するための本などがあります。対象学年別にとめたマルチメディアDAISY図書も準備しているところです。



図3〈SDGsの展示〉



図4〈りんごの棚〉

〈今後力を入れたいことは？〉

小中学生を対象としたサービスを充実させていきたいと思っています。目新しい企画を考えるなど、地域の児童・生徒に「行きたい」と思ってもらえるような魅力ある図書館を目指しています。また、ヤングアダルトコーナーにローテーション向けの本を増やすなど、蔵書構成の面も考えていきたいです。

図書館という場を介して、利用してくださる方々の人生を豊かにするお手伝いができれば、と思っています。

